

環境ボランティアサークル亀の子隊

渥美半島 西の浜クリーンアップ活動

2022年1月16日(日) 10:00~11:00

Jポイントあたりの海



海はすべての命の源です。私たちは、大昔の人たちのようにもつとつと海を大切にしなければなりません。そして、21世紀に生きる私たちはきれいな海を守っていきたく思います。

一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

『この活動は一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けています。』

環境ボランティアサークル亀の子隊
連絡先090 9123 7983



みんなで、きれいな海を守りましょう



この活動は『セブン-イレブン記念財団の助成』『あいち森とみどりづくり助成』『未来のみなとづくり助成』を受けています。

亀の子クラブ

環境ボランティアサークル 亀の子隊 通信

NO. 246 2021年12月21日号

発行責任 亀の子隊事務局

冷たい風の中で

西の浜クリーンアップ

2021年12月19日

参加者数 52名

ゴミの総重量 350Kg



2日前は暴風警報が出るくらいの風が吹き荒れ、前日は雪が降り、グンと冷え込みました。活動の始まる時は気温6度。海を渡ってくる風は冷たく体感1～2度。

そんな中で寒さに負けずに活動してくれました。今年になって初めて活動する場所は、かなり多くのゴミが浜に広がっていました。活動範囲は200Mちょっとです。いろいろなゴミ

みがありました。バイク用の大きなヘルメット、車のマフラー、オイル缶、浮き球、コンテナ、バケツ、水のタンク、中身が入ったままのサラダ油。もちろん、ペットボトルや発泡スチロールもいつものようにありました。ガラス瓶

も多くありました。風で飛ばされてきて割れて破片になっていたものもあります。薬もありました。「片名漁港」と書かれてト口箱もありました。錆錆になったホイールが付いたままのタイヤもありました。

堤防の際に、洗濯機や農業用の台車、中に一杯詰めてガムテープが張られた段ボール箱がありました。明らかに不法投棄です。堤防の上から捨てられたのでしょうか。未だに、こうした行為をする人がいるのは非常に残念です。

この数年、西三河や尾張の人たちの参加が多くなり、西の浜でビーチクリーンをしているだけでは海はきれいにならないこと、浜のゴミ多くは伊勢湾上流域から流れてくることなどの話をします。みなさんしっかり受け止めてくれます。

地元の人たちが「きれいな海を守る」という気持ちを持ってほしいなあと、改めて思いました。

エコツアー～渥美を学び、渥美を食べよう！第2弾



12月12日(日)エコツアー第2弾を実施。今回はバスでの参加者3人と車で来た家族の計7人の参加でした。プログラムに従って「西の浜クリーンアップ活動」。参加者はゴミの多さの驚き、立ち止まることなく約40分の活動をしてくれました。7人で集めたゴミは50Kg。



そして、「海水からの塩づくり」。古墳時代に製塩が盛んだったことの疑似体験です。海の環境を学ぶ会も同時開催ということで一家族の参加があり、3組がそれぞれコンロ囲み、海水からの塩づくりに挑戦しました。並行して飯盒でご飯を炊き、出来上がった塩を使っておにぎりを作ります。休暇村伊良湖のBBQも

楽しみながら活動できました。できた塩はミネラルたっぷり、いわゆる食塩とは違ってうま味を感じます。きれいな海だからこそできることです。

2021年12月のクリーンアップ活動は19日(日)です。大勢の力できれいな海を守りましょう。